



仙台市の交通事故発生状況

令和6年中

1 交通事故発生状況

令和6年中の仙台市内（高速道路・自動車専用道路を除く）における人身交通事故は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数は減少しましたが、死亡事故は16件16人発生し、前年と比較して5件5人増加しました。

【仙台市内の交通事故発生状況】

(令和6年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	1,885	16	16	202	2,014	2,216
前年	2,016	11	11	211	2,228	2,439
増減数	-131	5	5	-9	-214	-223
増減率	-6.5	45.5	45.5	-4.3	-9.6	-9.1

【宮城県内の交通事故発生状況】

(令和6年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	3,785	47	47	444	4,121	4,565
前年	4,033	44	47	463	4,469	4,932
増減数	-248	3	0	-19	-348	-367
増減率	-6.1	6.8	0.0	-4.1	-7.8	-7.4

2 仙台市の交通事故の区別発生推移 (基礎データ平成27年～令和6年)

(1) 発生件数は年々減少

人身交通事故の発生件数は減少傾向にあり、平成27年と令和6年を比較すると、10年間の増減数は-2,272件（増減率-54.7%）となっています。

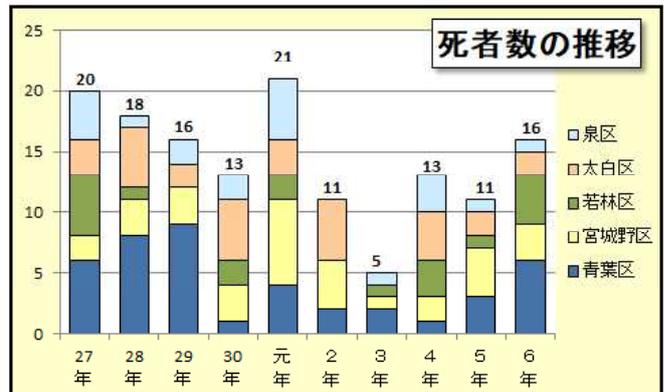
また、各区ごとの10年間の増減率は、全ての区で減少しており、最も減少率が高いのは宮城野区（増減率-64.0%）となっており、次いで青葉区（増減率-53.8%）が高くなっています。



(2) 令和6年の死者数は前年より増加

死者数は、平成27年から令和元年までは20人前後で推移し、令和2年以降は10人前後で推移していましたが、令和6年は、前年より+5人と大幅な増加となりました。

各区ごとの死者数を見ると、令和6年は、青葉区の死者数6人が最も多く、次いで若林区4人で、同2区は過去10年の年平均死者数を上回りました。

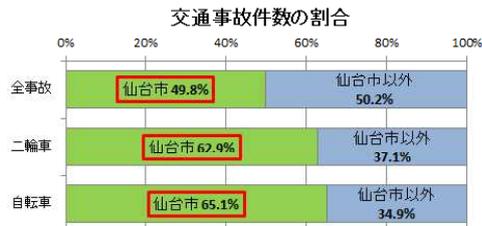


区別	年別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減率 10年平均
		発生件数	青葉区	1,065	1,044	1,140	929	764	545	540	551	
	宮城野区	909	770	655	706	564	423	396	364	362	327	-64.0%
	若林区	623	550	505	572	449	374	401	412	349	292	-53.1%
	太白区	892	740	734	744	559	424	430	415	435	451	-49.4%
	泉区	668	683	639	516	407	380	466	423	345	323	-51.6%
	計	4,157	3,787	3,673	3,467	2,743	2,146	2,233	2,165	2,016	1,885	-54.7%
死者数	青葉区	6	8	9	1	4	2	2	1	3	6	4.2人
	宮城野区	2	3	3	3	7	4	1	2	4	3	3.2人
	若林区	5	1	0	2	2	0	1	3	1	4	1.9人
	太白区	3	5	2	5	3	5	0	4	2	2	3.1人
	泉区	4	1	2	2	5	0	1	3	1	1	2.0人
	計	20	18	16	13	21	11	5	13	11	16	14.4人

3 仙台市の事故の発生特徴等 (基礎データ令和6年中)

(1) 二輪車と自転車事故の割合が高い

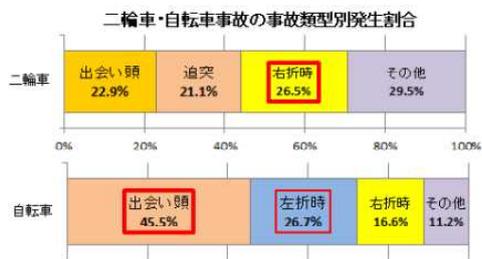
県内で発生した全事故のうち、仙台市が占める割合は、ほぼ5割(3,785件中1,885件。49.8%)ですが、二輪車事故は県全体の62.9%(264件中166件)、自転車事故は65.1%(564件中367件)といずれも高い割合を占めました。



(2) 二輪車は右折時、自転車は出会い頭事故が多い

二輪車事故を事故類型別に見ると、右折時が26.5%(166件中44件)で最も多く、次いで出会い頭が22.9%(38件)となりました。

自転車事故の事故類型別では、出会い頭が45.5%(367件中167件)で最も多く、次いで左折時が26.7%(98件)となっており、左折時は、仙台市以外の県内の発生割合(197件中34件。17.3%)と比べ9.4ポイント上回りました。

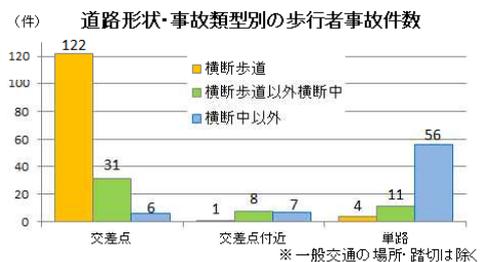


(3) 歩行者事故は道路横断中に多発

駐車場等での発生を除くと、歩行者事故の7割以上(246件中177件。72.0%)は道路横断中の事故であり、中でも横断歩道を横断中の事故が、同歩行者事故の約半分(127件。51.6%)を占めました。

道路形状別では、交差点での事故が最も多く(246件中159件。64.6%)、そのうちの76.7%(122件)が横断歩道での事故でした。

一方、単路では道路横断中の事故は21.1%(71件中15件)で、そのうち11件は横断歩道以外を横断中の事故でした。



仙台市内の交通死亡事故発生状況 (令和6年中)

No.	発生年月日等							事故類型			死者			
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	形状	類型A	類型B	状態	年代
1	6	1	6	21	土	夜	曇	宮城野区榴岡	市道	直線	人対車両	横断中	歩行者	80歳代
2	6	1	12	7	金	昼	晴	泉区八乙女中央	県道	交差点	車両相互	右折直進	四輪車	10歳代
3	6	1	17	6	水	夜	晴	青葉区作並	国道	直線	車両相互	出会い頭	軽車両	60歳代
4	6	1	17	22	水	夜	晴	宮城野区扇町	市道	交差点	車両相互	出会い頭	二輪車	20歳代
5	6	1	30	6	火	夜	晴	太白区富田	市道	交差点	人対車両	横断中	歩行者	70歳代
6	6	2	7	19	金	夜	晴	若林区遠見塚	市道	カーブ	人対車両	路上横臥	歩行者	60歳代
7	6	3	4	15	月	昼	晴	太白区袋原	市道	直線	車両相互	その他	自転車	70歳代
8	6	4	29	6	月	昼	晴	青葉区作並	国道	直線	車両相互	正面衝突	四輪車	80歳代
9	6	6	27	6	木	昼	晴	若林区古城	国道	交差点	人対車両	横断中	歩行者	70歳代
10	6	7	15	11	月	昼	晴	若林区今泉	市道	直線	車両単独	工作物衝突	二輪車	40歳代
11	6	8	19	10	月	昼	晴	青葉区角五郎	市道	交差点	人対車両	横断中	歩行者	80歳代
12	6	10	2	5	水	夜	晴	青葉区榴岡	市道	交差点	人対車両	横断中	歩行者	20歳代
13	6	10	20	21	日	夜	晴	若林区卸町	国道	直線	車両相互	出会い頭	二輪車	30歳代
14	6	10	31	10	木	昼	曇	青葉区作並	国道	直線	車両単独	工作物衝突	四輪車	30歳代
15	6	10	9	1	水	夜	雨	青葉区作並	市道	直線	車両単独	転落	四輪車	40歳代
16	6	12	10	0	火	夜	曇	青葉区八幡	県道	直線	車両単独	転倒	二輪車	20歳代

仙台市内(区別)の主な事故発生状況 (令和6年中)

	全事故			歩行者			自転車			二輪車			子供		
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者									
青葉区	492	6	556	94	1	94	80		81	59	1	59	18		18
宮城野区	327	3	385	47	2	45	65		67	23	1	22	16		19
若林区	292	4	329	23	2	21	80		80	23	2	21	17		18
太白区	451	2	538	63	1	62	101	1	100	43		44	31		35
泉区	323	1	408	56		61	41		41	18		21	23		26
仙台市合計	1885	16	2216	283	6	283	367	1	369	166	4	167	105		116
県全体	3785	47	4565	511	13	507	564	6	563	264	12	262	250		289
仙台市の割合(%)	49.8	34.0	48.5	55.4	46.2	55.8	65.1	16.7	65.5	62.9	33.3	63.7	42.0	-	40.1

	高齢者			高齢ドライバー			飲酒運転			若年ドライバー			高校生		
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
青葉区	55	3	55	141	1	162	9		10	57	2	74	13		15
宮城野区	34	1	36	64	1	72	3		3	39		43	11		13
若林区	26	1	28	66		76	2		2	42		46	12		12
太白区	60	2	64	126		146	3		4	44		58	26		26
泉区	35		38	80		103	3		4	37	1	52	17		21
仙台市合計	210	7	221	477	2	559	20		23	219	3	273	79		87
県全体	551	26	583	1062	12	1265	39		44	469	7	601	170		217
仙台市の割合(%)	38.1	26.9	37.9	44.9	16.7	44.2	51.3	-	52.3	46.7	42.9	45.4	46.5	-	40.1